

**BOUNTY HUNTER® JUNIOR**  
METAL DETECTORS

# 取扱説明書



**9V のアルカリ電池のみをご使用ください。**  
Heavy Duty 電池・マンガン乾電池は使用できません。

金属探知機を最大限にご活用いただくために、以下の事項をお勧めいたします。

**1. 9V アルカリ電池のみをご使用ください**

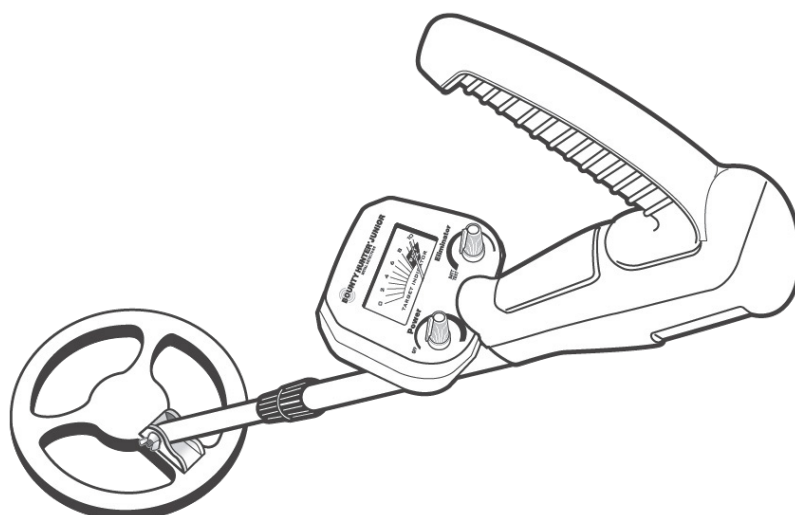
- Heavy Duty 電池・マンガン乾電池は使用できません。
- 一般的な亜鉛・炭素電池も使用しないでください。

**2. 右側のノブが正しく電源位置にあることをご確認ください**

(バッテリーテスト位置になっていないことをご確認ください)。

**3. 金属探知機は屋外でのみご使用ください**

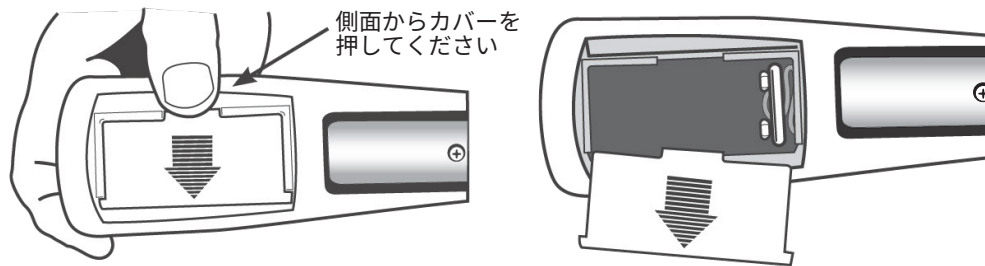
- ご家庭内にある大型の金属製品は、検知器の動作に影響を及ぼす可能性がございます。多くの住宅の床や壁には金属が含まれております。
- 電子レンジ、テレビ、照明器具などの家庭用電化製品は、検知器の動作に干渉する可能性のある電磁エネルギーを発する場合がございます。
- ご自宅の床にコインを置いて検知を行わないでください。こちらのテストは必ず屋外でお試しく下さい。
- 屋内でデモンストレーションを行う場合は、サーチコイルを床から離して持ち、コインをサーチコイルの上で動かしてご確認ください。



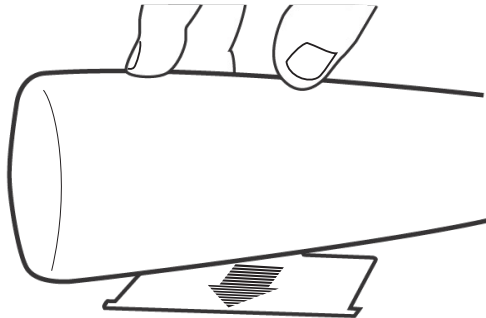
# 電池の取り付け方法

## 9V のアルカリ電池のみご使用ください

1. 金属探知機の底面から電池カバーを取り外してください。



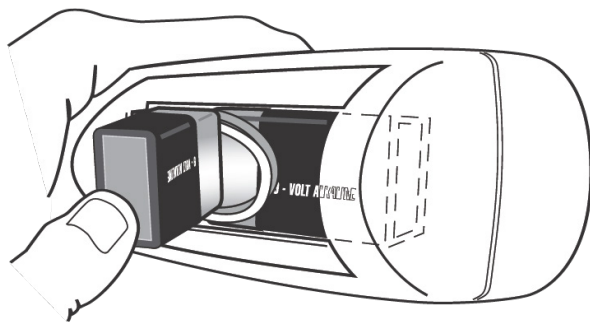
2. 2つの電源コネクタを引き出してください。
3. 2本の9Vアルカリ電池をしっかりと装着してください。  
※ヘビーデューティーやマンガン電池は使用しないでください。
4. 電池を一つずつ重ねて収納部に入れてください。



5. 電池カバーを元に戻して、しっかりと閉まるまでスライドさせてください。

電池メーカーによって、サイズに若干の違いがございます。

電池をよりしっかりと固定したい場合は、電池の下および間に配線を通してください。



**警告** - 古い電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。

- アルカリ電池、標準（カーボン・亜鉛）電池、充電式（ニッケド）電池を混ぜて使用しないでください。

- 電池は決して火中に廃棄しないでください。爆発の危険性があります。

- 充電できない電池を充電しようとししないでください。

- 消耗した電池は必ず金属探知機から取り外してください。

電池がきつく収まり、電池カバーが膨らむ場合は、配線を電池の間ではなく、収納部の前方へ移動してください。

# クイックスタートデモ

金属探知機の基本的な機能を試す方法。

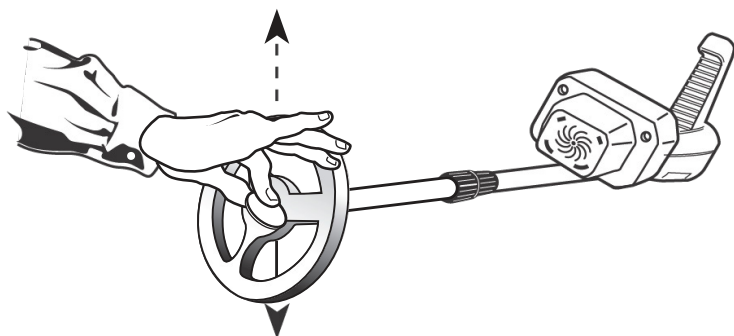
## I. ご用意いただくもの

- a. 釘
- b. 亜鉛製の硬貨（1982年以降に発行された1セント硬貨は亜鉛製です）
- c. 50/100円玉硬貨

## II. 探知機の設置方法

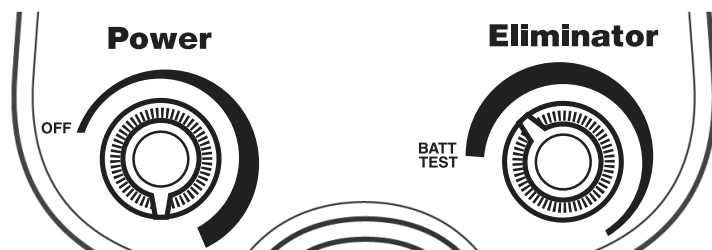
探知機は床、壁、金属物から離してお使いください。お一人が探知機を静止させ、もう一人がコイルの下でコインを動かして動作をご確認いただくことが可能です。

サーチコイルの下部でコインを移動させてください。



## III. 初期設定

- a. 左側ノブ：6時の位置に設定してください。
- b. 右側ノブ：オンにした後、反時計回りにお回しください。



## IV. あらゆる種類の金属の検出

- a. 各物体を検出コイルの上でゆっくりと動かしてください。中央を通過する際に最も大きな音が鳴ることをご確認ください。
- b. 各物体を検出コイルから異なる距離で動かしてみてください。物体がコイルに近づくほど音が大きくなること、また、ある一定の距離を超えると検出されなくなる点にもご注意ください。

## V. 特定の金属の除去

- a. 釘を検出部にかざし、右側のノブをゆっくり右に回してください。
  - 釘が検出されなくなる位置をご確認ください。
- b. 亜鉛製の硬貨を検出部にかざし、右側のノブを亜鉛製の硬貨が検出されなくなるまで回してください。
- c. 50/100円玉硬貨を検出部にかざしてください。
  - 50/100円玉硬貨は検出から除外されないことをご確認ください。

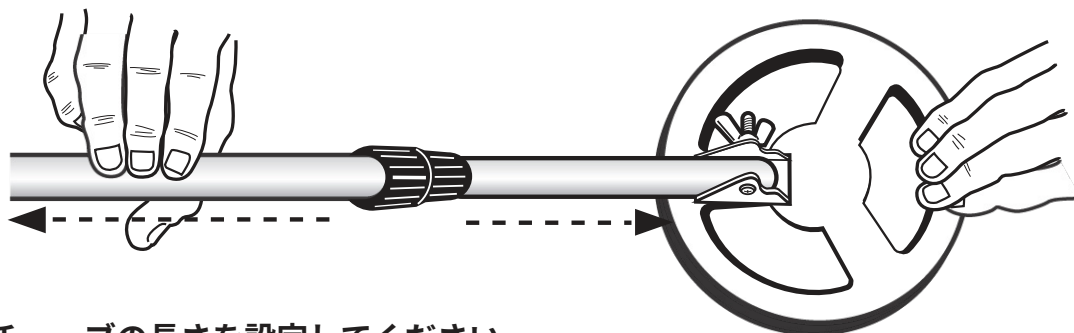
# 長さの調整

チューブクランプナットを4分の1回転分、緩めてください



チューブアセンブリを伸ばしてください

1. 片手で上部チューブをしっかりと握ってください。
2. もう一方の手でサーチコイルを握ってください。
3. 下部チューブを上部チューブに滑らせて取り外すため、両クッションを慎重に引き離してください。



チューブの長さを設定してください。

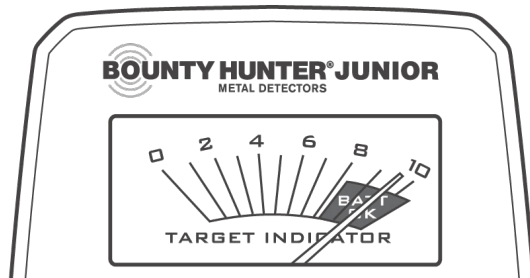
1. サーチコイルをチューブに対して垂直になるように回転させてください。
2. 検知器を使用者の手に持ち、腕をまっすぐに伸ばした状態で保持してください。
3. サーチコイルが使用者の足元付近の地面に接するよう、チューブの長さを調整してください。  
コイルを検知器本体に正しく合わせてください。
4. チューブアセンブリが回転しないようサーチコイルを地面に固定した状態で、チューブ固定ナットをしっかりと締めてください。



# バッテリーテスト

バッテリーのテストを実施する際は、右側のノブを完全に反時計回り（最も左）に回してください。

バッテリーが正常な場合、針が右に動き、インジケータラベルの緑色のゾーンに入ります。



針が緑色のゾーンに入らない場合は、バッテリーを交換してください。

## 屋外での練習

### 1. 検出器の電源を入れてください

- 左側のノブを時計回りに回し、高感度に設定してください。
- 右側のノブを押して「バッテリーテスト」モードを終了してください。
- 右側のノブを反時計回りの位置に保ち、「バッテリーテスト」モードには入らないようご注意ください。

### 2. 芝生の中で探知機が反応しない場所をお探しくください。

検知コイルを芝生の上でゆっくりと動かし、金属物がない安全な場所を特定してください。探知機の性能を確認するには、まず金属物が一切ない場所を見つける必要があります。

### 3. これらの金属物を地面に置いてください。

- 釘、または小型のドライバー等の鉄製品
- 亜鉛製の硬貨（1982年以降に発行された1セント硬貨は亜鉛製です）
- 50/100円玉硬貨

### 4. 物品同士の間隔を十分に空けて地面に配置してください。

### 5. 各物品の上を検知コイルで丁寧に動かしてください。

- 検知コイルは常に動かし続けてください。
- 金属物が検知コイルの中心真下にきたとき、音が最も大きくなります。
- 左右にゆっくりと動かしながら、検知コイルを約5～10cm前後上に持ち上げてください。  
コイルが物品に近いほど、音が大きくなることをご確認ください。

### 6. 各金属物体の上でサーチコイルを動かしながら、右側のノブを徐々に右方向へ回してください。

右側のノブをおおよそ3時の位置に設定すると、釘（または小型の鉄製品）は検出から除外されます。亜鉛製の硬貨はノブをおおよそ6時の位置に合わせることで検出から除外されます。

# 感度調整とターゲット除去

## 感度の調整方法

左側のノブを押すことで、検出器の電源が入ります。

電源を入れた後、左側のノブにより検出器の感度レベルを調整します。

ノブを完全に右回しにした時、最大感度となります。

この状態では、コイン程度の大きさの物体（例：25セント硬貨）をコイルから最大約12cm離れた位置でも検出できます。非常に大きな金属物体は、最大感度時にサーチコイルから約45cmまで検出可能です。

検出器がノイズを発したり誤検出をする場合は、感度を下げてください。

これは、おそらく電磁波干渉の影響です。

## ターゲット除去

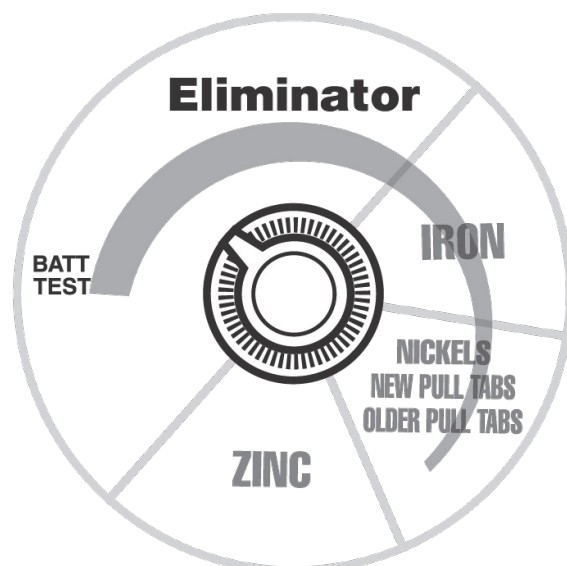
右側のノブは、不要な金属を検出対象から除外する際に使用します。

例えば、硬貨のみを探したい場合、釘・ボルト・プルタブなどの物体を検出から除外したいことがあります。

右側のノブを右回しにすることで、さまざまな種類の金属が順次検出から除外されます。まず鉄製品（釘・ボルト・空き缶・工具など）が除去され、次にニッケル、プルタブ、最後に亜鉛ペニーが除去されます。

右側のノブによって金も除去されます。最初に小さな金製品が、さらに回すことで大きな金製品が順次除去されます。銀製品（高額硬貨など）は検出対象から除外されません。

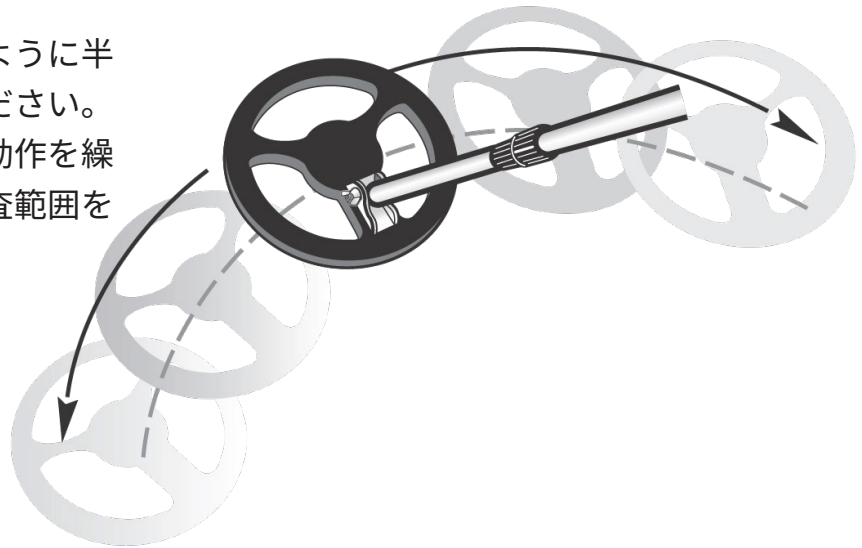
各種金属が検出から除去される相対的なノブの位置については、下記のスケールをご参照ください。



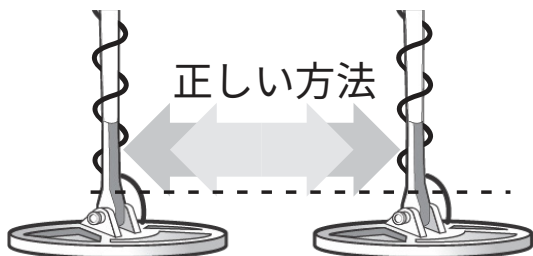
# 現場での操作方法

サーチコイルを左右にゆっくりと重なるように動かしてください。  
サーチコイルは地面と平行に保ち、地面から約 1/2 インチ離して、できるだけ接触しないようにご注意ください。

コイルは、こちらに示すように半円を描くように振ってください。  
歩みを進めるごとにこの動作を繰り返すことで、十分に探索範囲をカバーできます。



サーチコイルの動作終了時に持ち上げないようご注意ください。お子様には難しい場合もございますが、サーチコイルと地面の距離が近いほど、埋もれた金属物を発見できる可能性が高まります。



左側のノブは可能な限り最大の感度設定にしてください。

右側のノブをオンにし、最も左側（反時計回り）位置から探索を開始してください。

探索中に発見物に応じて右側のノブを調整することも可能です。例えば、右側のノブを左側（ただしバッテリーテストモード以外）に設定すると、すべての種類の金属物を検出します。ゴミの多い場所で不要物を検出から除外したい場合は、サーチコイルを不要物の上で動かしながらノブを回してください。特定の金属が除外される設定を見つけたら、適宜調整してください。

ご注意：金の指輪はプルタブと同様に検出から除外される場合があります。ニッケルや金など、望ましい物も検出範囲の中間で除外されることがございます。金の指輪はプルタブに似た金属反応を持ち、ニッケルも一部の新しいプルタブと似た反応を示します。どの設定でどの物が除外されるかを理解するには、練習と根気が必要です。

# 正確な位置特定

正確な位置特定には継続的な練習が必要です。

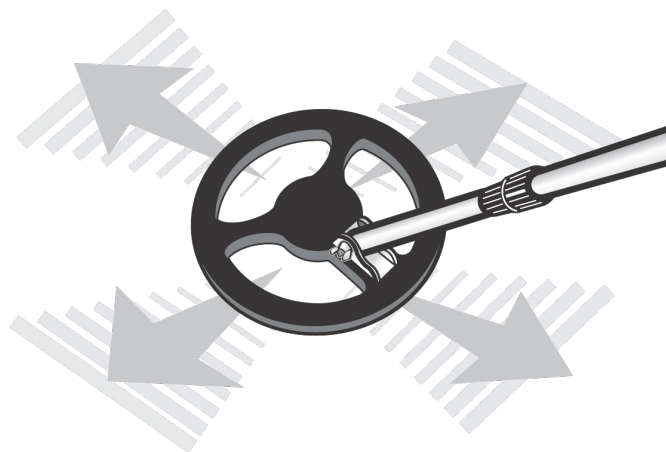
疑わしい場所に「X」の形を描く方法が効果的です。

1. 埋まっている対象が音で反応した場合は、コイルを左右に徐々に狭める動きで対象の上を繰り返し掃引してください。
2. コイルをゆっくり左右に動かしながら、音が鳴る地面の場所を目視で確認してください。
3. コイルを音の鳴る地面の場所に正確に止めてください。
4. コイルをまっすぐ前後に数回動かしてください。
5. 再度、検出音が鳴った地面の位置を目視でご確認ください。
6. 必要に応じて、異なる角度から対象物に「X」を描くことで、検出音が鳴る正確な場所を特定してください。

**注意：探知機は、サーチコイルが埋没物の上を通過した際に音を発します。**

強い信号の位置特定が難しい場合は、コイルを地面から少し高く持ち上げて、より弱く明確な信号が聞こえるかお試しください。

非常に弱い信号については、コイルを地面に近づけて短く速い動きでスイープすると効果的です。



目的物の位置特定時は、図示されたように検出音が鳴る箇所に「X」を描いてご確認ください。

# トレジャーハンター倫理規範：

- 探索する前に、連邦、州、郡、および地域の法令をご確認ください。
- 私有地には必ず所有者の許可を得てから立ち入ってください。
- 穴を掘った場合は、必ず元に戻し、損傷を残さないようご配慮ください。
- 発見されたゴミや廃棄物は速やかに回収し、適切に処分してください。
- 天然資源や野生動物、私有財産という遺産を大切に保護しましょう。
- 趣味の代表として、常に思慮深く、配慮と礼儀を心がけて行動してください。
- 歴史的・考古学的な財宝を決して破壊しないでください。
- 他のトレジャーハンターは皆様の振る舞いによって評価される可能性があります。常に礼儀と配慮を持って行動してください。

Copyright© 2014 First Texas Products, L.L.C.

本書およびその一部のいかなる形での複製権も含め、すべての権利は保有されています。

発行元：First Texas Products, L.L.C.

Bounty Hunter® および Bounty Hunter Junior は、First Texas Products, L.L.C. の登録商標です。



First Texas Products, L.L.C.

中国製

米国 First Texas Products によって設計され、First Texas Products Bounty Hunter® の仕様に基づき製造されています。